

議題**企業会計基準委員会の最近の活動状況**

1. 前回基準諮問会議（第 18 回、2013 年 7 月 16 日開催）後の当委員会の活動状況は次のとおりである。

1. 日本基準**会計基準等の公表**

2. 2013 年 9 月 13 日に改正企業会計基準第 21 号「企業結合に関する会計基準」及び関連する他の改正会計基準等を公表した（参考資料）。本会計基準等については、2013 年 1 月 11 日に公開草案を公表し、広くコメント募集を行った後、当委員会に寄せられたコメントを検討し、公開草案の修正を行った上で公表するに至ったものである。

会計基準の開発の状況**実務対応****現在開発中のテーマ**

3. 2013 年 7 月 2 日に実務対応報告公開草案第 39 号「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い（案）」を公表した。公開草案に対するコメントを 9 月 2 日に締切り、合計 11 通のコメントが寄せられた。現在、公開草案に寄せられたコメントを分析し、最終基準化に向けた検討が行われている。
4. 基準諮問会議から実務対応報告第 18 号「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の見直しについて新規テーマとして提言されたことを受け、2013 年 7 月以降、実務対応報告専門委員会にて見直しを検討中である。

テーマ提言のための評価（基準諮問会議からの依頼）

5. 次のテーマの候補について、テーマアップに関する評価のために専門委員会を 1 回開催した。
 - 完全親会社が完全子会社に無対価会社分割で事業を移転する場合の会計処理
 - 「企業結合会計基準」における条件付取得対価の取扱いについて

II. IFRS のエンドースメント手続

6. 資料(2)-2を参照のこと。

III. 国際対応

会計基準アドバイザー・フォーラムへの参加

7. 会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) の第2回が、2013年9月25日、26日にロンドンで開催され、当委員会から委員長が同会議に出席した。以下の団体が出席し、「概念フレームワーク (慎重性について)」、「開示」、「リース」、「金融資産の減損」、「マクロヘッジ活動」及び「保険」が議論された。

(ASAF メンバー)

組織名	出席メンバー
南アフリカ財務報告基準評議会	Kim Bromfield
欧州財務報告諮問グループ (EFRAG)	Françoise Flores
英国財務報告評議会	Roger Marshall
ドイツ会計基準委員会	Liesel Knorr
スペイン会計監査協会	Ana Martínez-Pina
アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ (AOSSG)	Clement Chan
オーストラリア会計基準審議会	Kevin Stevenson 他
企業会計基準委員会 (ASBJ)	西川 郁生
中国会計基準委員会	Liu Guangzhong 他
ラテンアメリカ会計基準設定主体グループ (GLASS)	Alexsandro Broedel Lopes
米国財務会計基準審議会 (FASB)	Russel Golden 、 Tom Lisemeier
カナダ会計基準審議会	Linda Mezon

(IASB 参加者)

Hans Hoogervorst 議長 (ASAF の議長)、Ian Mackintosh 副議長、プロジェクト担当理事、担当スタッフ

8. なお、ASAF 会議への対応については、企業会計基準委員会のほか、各プロジェクトに関連する専門委員会及び ASAF 対応専門委員会において検討を行った。また、2013年9月19日に、「アジェンダ・コンサルテーションに関する協議会 (注)」が開催され、ASAF 会議への対応について意見交換が行われた。

(注) 同協議会は、財務会計基準機構及び金融庁を事務局とし、企業会計基準委員会、日本経済団体連合会、日本公認会計士協会、日本証券アナリスト協会、東京証券取引所、経済産業省、法務省をメンバーとする。なお、同協議会は「IFRS 対応

方針協議会」に名称の変更を行っている。

FASB との定期協議

9. FASB との定期協議を 2013 年 10 月 15 日、16 日に東京で開催し、両ボードの関係強化が合意されるとともに、以下に関する議論を行った。
- 概念フレームワーク」及び「マクロヘッジ会計」(IASBのアジェンダ)
 - 「リース」及び「保険契約」(FASBとIASBが共同で審議)
 - リサーチ・プロジェクト

会計基準設定主体国際フォーラム (IFASS) への参加

10. 各国の会計基準設定主体が取り組んでいる調査・研究プロジェクト等を議論する会計基準設定主体国際フォーラム (International Forum of Accounting Standard Setters : 略称 IFASS) が 2013 年 9 月 19 日、20 日に、ブリュッセル (ベルギー) にて開催され、当委員会からも同会議に出席した。

アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ (AOSSG) 中間会議への参加

11. アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ (AOSSG) の中間会議が 2013 年 9 月 22 日にロンドンで開催され、当委員会からも同会議に出席した。

世界会計基準設定主体 (WSS) 会議への参加

12. IASB と各国の会計基準設定主体との意見交換のための世界会計基準設定主体 (WSS) 会議が 2013 年 9 月 23 日、24 日にロンドンで開催され、当委員会からも同会議に出席し、委員長が概念フレームワーク・プロジェクト「測定及びその他の包括利益」のセッションについて、議長役を務めた。

日中韓三カ国会議の開催

13. 日中韓三カ国会議が 2013 年 11 月 6 日に東京で開催され、日中韓の各基準設定主体のほか、香港及びマカオの基準設定主体及び IASB の理事及びスタッフの数名がオブザーバーとして参加した。

コメント・レターの提出

14. 前回の基準諮問会議の後、IASB 及び FASB の公開草案等に対する下記のコメント・レターを提出した。

- IASB 改訂公開草案「リース」に対するコメント（2013年9月13日提出）
- FASB 会計基準更新書案「保険契約（トピック 834）」に対するコメント（2013年11月1日提出）
- IASB 改訂公開草案「保険契約」に対するコメント（2013年11月1日提出）

その他

15. 上記に加え、IASB 主催の円卓会議（リース、概念フレームワーク）に出席した他、IASB スタッフ等によるアウトリーチ（リース、保険、概念フレームワーク）に参加し、意見発信を行った。また、IASB 関係者や欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）関係者との間で、定期的にテレビ会議を開催し、意見交換や情報交換を行った。

IV. その他

16. 前回の基準諮問会議の後に開催したセミナー等は次のとおりである。

各地域における当委員会の活動状況の報告

ASBJ オープン・セミナー

17. 当委員会における IFRS のエンドースメントと国際対応及び国内会計基準開発に関するオープン・セミナーを開催した。開催地及び開催日は次のとおりである。札幌（9月24日）、福岡（9月27日）、大阪（9月30日）、東京（10月1日）、名古屋（10月4日）。

市場関係者との意見交換

18. 東京地区での関係諸団体との定期的な意見交換に加え、各地の証券取引所、経済界、監査人等とのコミュニケーションを幅広く行うことの一環として、ASBJ オープン・セミナーの開催に合わせて、当委員会の活動状況について各地域の経済界及び監査人との意見交換を行っている。

以上